

青少年育成事業「B G レンジャー」

テーマ 地域ぐるみの子育て

筑紫野市教育委員会生涯学習課
青少年担当

筑紫野市の概要

10万439人
(22年6月末)

ベッドタウン
人口増加中！！

都市部と田園部が
分かれている



B G レンジャーとは

- **地域**の方が日頃から感じている**青少年の課題**の解決に取り組む事業に補助金を交付（補助事業）

	1 年目	2 年目	3 年目 (新規事業のみ)
補助金額	最高 10万	最高 7万	最高3万

※ 補助金終了後も事業は継続（初期費用）

B G レンジャーについて

- 平成14年に開始
- 現在までに28団体に補助

※平成19年度に要項を一部改正

対象事業

- 公民館を中心（拠点）とした事業
- 子どもが中心の事業（お客ではない）

実行委員会について

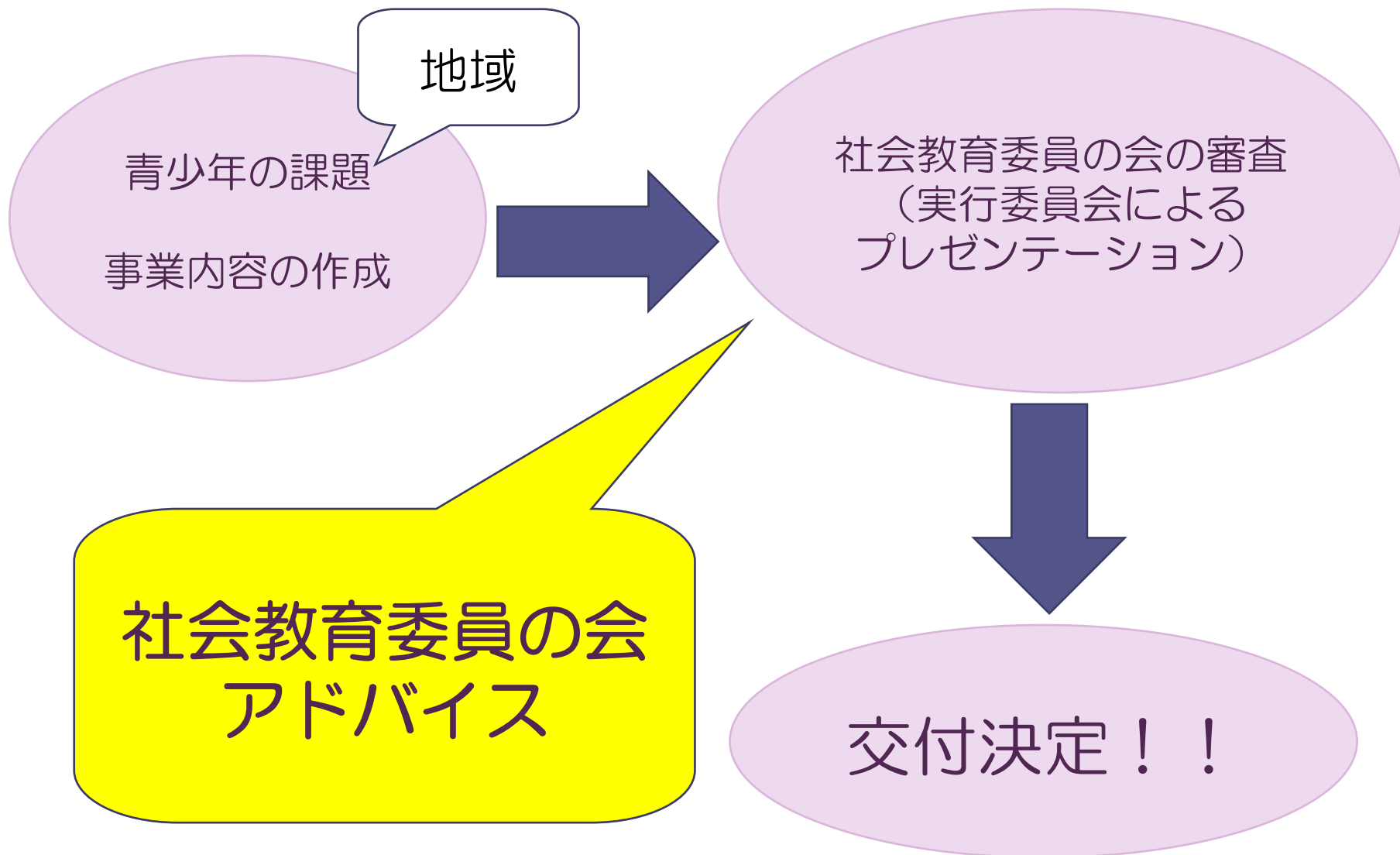
- ・ 青少年の課題が出しやすい
- ・ 行政区だけの事業ではない



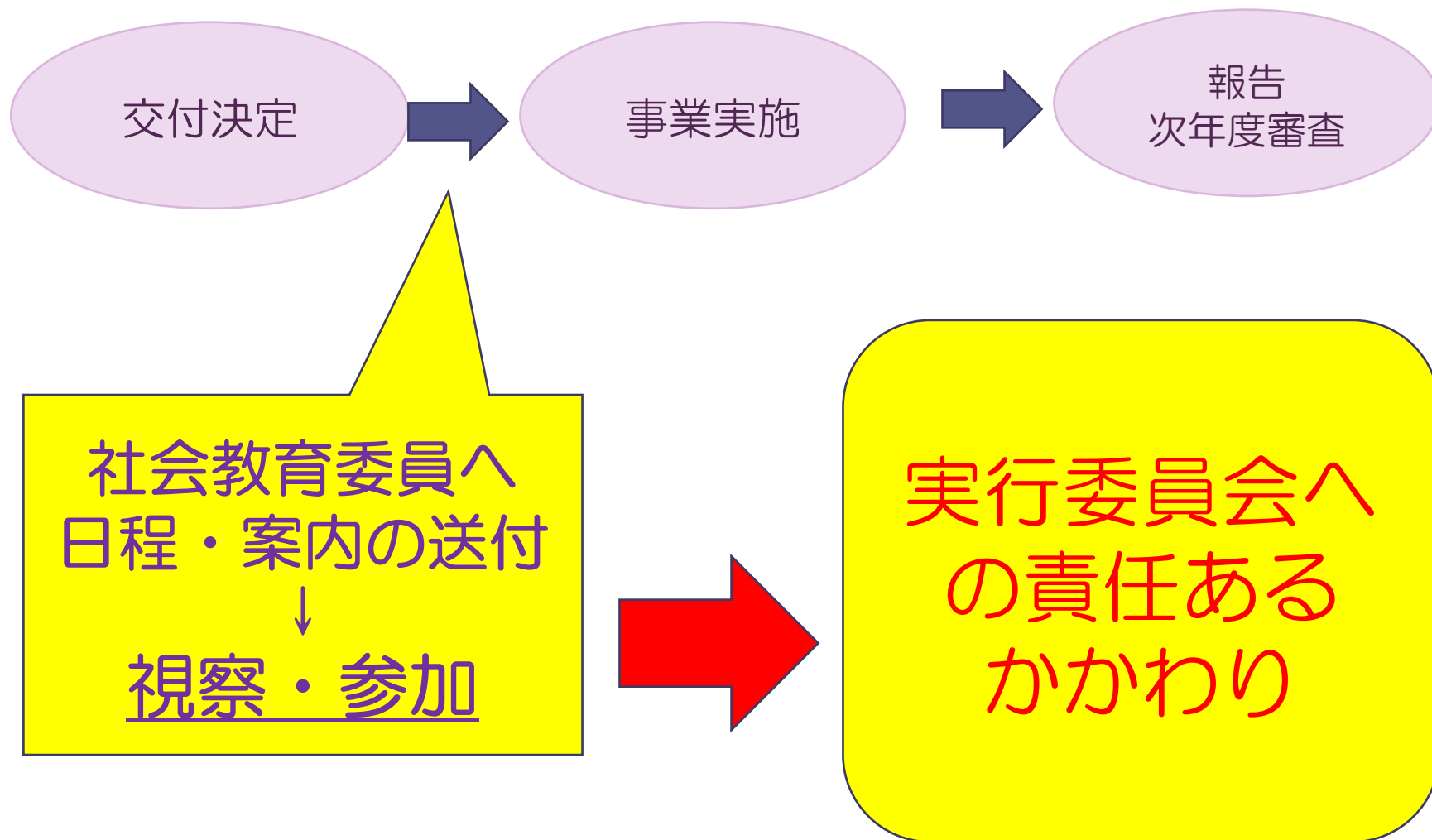
団体構成員（実行委員会）の条件

- 地域内在住の20歳以上の成人5名以上
- 構成員の中に地域の役員（隣組長以上）を含むこと

申請の流れ



交付決定後のかかわり

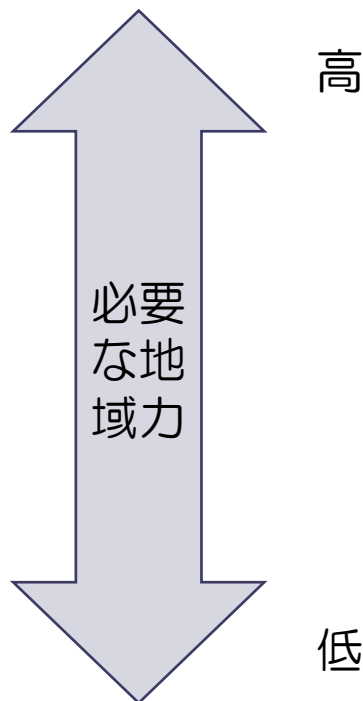


B G レンジャーの効果

- 子どもたちにとって身近な地域が見出した必要な体験を行う
- 地域の教育力向上
- 地域の中の人材育成

地域で子どもを育てる事業

地域内ですべて行う事業が理想形



地域で子ども
を育てる
“きっかけ”づ
くり

事例：岡田グリーンナイツ

筑紫野市岡田区

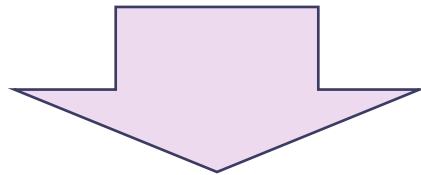


- 新興住宅街
- 子ども会のつながりが非常に強い
- 育成会にかかわる父親が多い
- 高齢化率7.4%
(筑紫野市でいちばん低い)

岡田グリーンナイツの事業

<課題>

- ① 子ども会のつながりが中学生になると離れる
- ② 青少年が地区の一員である自覚が薄い



解決のための事業は…！？

<解決するため事業プラン>

- ① 区みんなでイモ畑づくり
- ② 青少年を含む全員での防犯パトロール



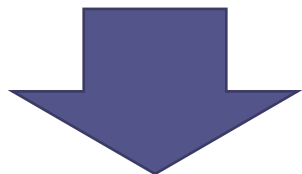






社会教育委員・社会教育職員

社会教育委員、行政職員ともに社会教育についての
見識を広げる必要がある



社会教育委員・社会教育職員全員が足を運ぶ
(地域の実態把握・経験を積む)



責任ある補助金の交付

今後の課題

- 地域格差
- ただの補助でない趣旨
- 3年目以降の実態把握

B G レンジャーの目指す姿

地域主体のまちづくり

地域に育てられた子どもたち

地域の絆 = 地域の教育力向上

地域がつながる“きっかけ”です。